



# 林 さえこの柏市議会 Report NO. 2

定例会が11月27日(金)から12月16日(水)まで行われました。

私にとって2回目の議会は、何もかも手探りだった9月議会と比べてスムーズに進みましたが、問題提起したいことを詰め込み過ぎて、どれも中途半端になってしまうといった、新たな課題も見えました。

## 《林 さえこ一般質問項目》

- 1 こども行政について
  - ・子どもの貧困実態調査
  - ・ひとり親家庭学習支援と困窮者自立支援事業学習支援
- 2 医療行政について
  - ・子宮頸がんワクチン副反応実態調査

## 3 環境行政について

- ・ゴミ削減
- ・雨水対策
- ・化学物質排出抑制

## 4 消費者行政

- ・消費者教育事業
- ・石けん推進

## 5 教育行政について

- ・スクールソーシャルワーカー

## 《一般質問》

12月10日(金)、一般質問を行いました。柏市公式ホームページや市民ネットワーク・かしわのホームページから録画を見ることができます。

「一般質問」とは、市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を、市長や担当部長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

柏市では、議員は年4回の定例会で一般質問を行うことができます。議員一人の持ち時間は答弁を含めて1時間です。

## まず現状の把握を…「子どもの貧困実態調査」

平成24年に子どもの貧困率が16.3%で過去最悪となり、17歳以下の子どもの6人に1人、300万人あまりが貧困状態にあるとされている日本。

11月に、子どもの貧困対策を巡り、政府が子どもの生活実態に関する初の全国的調査を実施する方針を固めたとの報道がありました。

調査は都道府県を通じて希望する市町村を募り、調査項目に関しても原則市町村に委ねられるとのことですが、これを受けて柏市では今後どのように対応していくのか、問いました。

まだ国から要綱などが来ていないので細かくは答えられないが、柏市としては実施に向けて検討しているとのことでした。足立区では小学校一年生5300人を対象として7月から実態調査を始めていて、保護者の所得や食費、生活環境が影響するとされる虫歯の有無、就寝・起床時間、地域で頼れる人の数など17項目を調べています。

柏市でも同様の調査を行い、その上で柏市の実態に合った施策が行われるように、注視していきます。

## 今、 柏市議会では…

9月議会から引き続き、市立柏病院の移転計画、西口北地区再開発ビル計画など、多額の費用が見込まれる事業に、多くの議員から疑問や反対の声が上がっています。一方、教室へのエアコン設置やコミュニティバスの実現、教育・福祉・子育て支援事業の充実についてなど、なかなか進まない現状があります。

## 方向性が違う…「放課後子ども教室」

国が進める放課後子どもプランの「全ての子どもを対象とした、安心・安全な居場所を作る」を目的から、現在各自治体で「放課後子ども教室」が推進されています。これに伴って我孫子市や船橋市では、全ての曜日の放課後、子どもたちが自由に過ごせる場としての放課後子ども教室の拡充が進んでいます。しかし、柏市ではステップアップ教室という週に1回程度の学習支援をメインに「放課後子ども教室」が整備され、一向に子どもたちが自由に過ごせる居場所作りが進んでいないことを取り上げて質問しました。

柏市の放課後子ども総合プランでは、子どもの居場所作りより、学習意欲向上や学習習慣

の定着を主な目的にして放課後子ども教室を運営し、今後もその方向で拡充するとの答弁がありました。

しかし、曜日・時間・学年を限り、申し込み制で補修授業を行う現在のやり方では、対象者が大きく絞られる上、放課後まで勉強をしたくない子どもから嫌煙され、教育熱心な家庭の子どもに応募が集中するなど、支援が偏る懸念があります。

「学習」や「体験学習」などと大人が限定するような場ではなく、子どもが自由にのびのびと過ごせる場を作り、興味のある分野の思考を伸ばすことこそが、今求められているのではないのでしょうか?引き続き問いかけていきたいと思います。

## 《発行》

林 さえこ(柏市議会議員)  
fb.com/saeko.hayashi.35

twitter.com/saeko\_hayashi

## 《問い合わせ》

林 さえこ事務所  
(市民ネットワーク・かしわ)

〈平日 9:30 ~ 16:30〉

〒277-0005 柏市柏5-8-15

TEL : 04-7166-6648

FAX : 04-7166-6716

MAIL : smnnet@bz03.plala.or.jp  
business4.plala.or.jp/net6648/

## 環境政策の後退…「石けん推進」

河川や湖沼・海の汚染が問題になり、家庭排水の合成洗剤がその一因であることから、全国的に合成洗剤の削減、石けん推進の運動が起こったことはご存知の方も多いと思います。

柏市では昭和58年度に石けん普及事業推進要綱を制定し、広報活動や講習会の開催、公共施設では石けんを使うという普及事業などを行ってきましたが、平成24年に突如、普及事業を中止してしまいました。

下水道の普及率が上がり多くの雑排水は終末処理場で処理されていることと、合成洗剤の改善が進んでいることを、担当部は理由として挙げていますが、今も多くの合成洗剤にPRTR法指定化学物質(※)が使われていることを指摘した私に、「改善が進んだ」との認識を持つ根拠を示すことができない現状があります。

また、終末処理場では化学物質を100%処理できている訳ではありません。

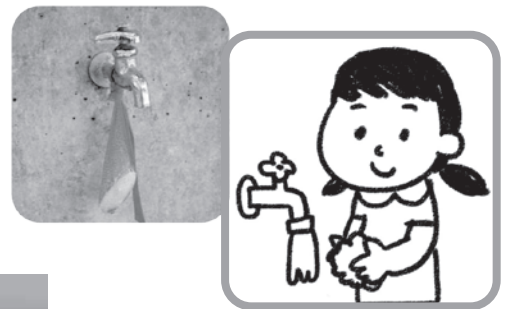
一方、石けんの洗浄成分は脂肪酸ナトリウムもしくは脂肪酸カリウムの2種類であり、有害な化学物質を含むも

のはまれであるため、柏市以外の近隣自治体は今も石けん推進事業を行っています。

環境を積極的に守るのは行政の努めであり、柏市のみ石けん利用推進事業を止めることは環境政策の後退と言えます。

一度は推進要綱を制定し、普及推進を行ってきた経緯をしっかりと見直し、以前と同じように柏市の公共施設で使用する洗剤に無添加のせっけんを推奨すべきではないかと考えます。今後も引き続きこの問題を取り上げます。

※PRTR法…排出することで環境に悪影響を及ぼす恐れのある化学物質の排出量の報告を事業者に義務付ける法律。



## 《市民環境委員会にて》

### もっと慎重に…「マイナンバー制度」

12月14日、私の所属する市民環境委員会が行われました。今回はマイナンバー制度を柏市で進めるための議案について主に質疑を行いました。

住基ネットでは、住所、氏名、生年月日、性別という秘匿性の低い本人確認情報で、民間利用を禁止していましたが、マイナンバー制度では、福祉、医療、介護、労働、税務など、秘匿性の高い情報が中間サーバーを通して全国とつながり、本人の同意なしで提供され、民間利用も明らかになっています。

多くの対策費が必要な中、民間で準備不足のまま運用を開始される恐れがあり、個人情報の漏えいの危険性が高いと言われています。番号カードの不正取得や偽造で、成り済まし借金などの犯罪も懸念されています。

マイナンバー制度のメリットは、手続きの簡素化や行政事務の省力化と言われていますが、そのために各自治体で多額の費用負担を担い、今後もランニングコストをかけて運用することは、本当に私たちの暮らしにメリットとなるのでしょうか。

複数の機関にバラバラにある個人の情報をつなぐことで、「真に手を差し伸べるべき者を見つけることが可能になり、社会保障給付の充実ができる」と国は説明していましたが、

マイナンバーのシステムは住基ネットのシステムを改修して作られているので、住民登録の届出のできないホームレスの人たちは対象から外され、社会保障給付はされないといわれています。

柏市では子ども医療費給付においてマイナンバーの独自利用を検討していますが、情報漏えいが心配される中で情報量を増やすことを行うべきではないし、個人番号カードを利用した証明書のコンビニ交付は、利用者が少数に留まると推測されるため、費用対効果が薄いことを担当部も認めています。サービスの充実の面から言っても慎重になるべきと考えます。

柏市には「総務」「市民環境」「教育民生」「建設経済」の4つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属します。各委員会ではそれぞれの所管の議案について審議が行われます。

## くらしと政治のおはなし会 ～現役ママ議員としゃべろう～

くらしの困りごとから市政の大きな問題まで、わかる範囲でお答えします。

皆さんの声をお聞かせください♪

①2月6日(土) 10:00～12:00

②2月8日(月) 10:00～12:00

場所：林 さえご事務所  
(市民ネットワーク・かしわ)

参加費：無料

申し込み：事務所にご連絡ください。

(飛び入り参加も大歓迎♪)

予定が合えば  
出張おはなし会も  
開催いたします☆  
ぜひご相談ください。

